

1-2-3-14					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	郷土学習出前講座				
事業内容・目的	学校・各種団体の要望に応じて、郷土に対する理解を深めるための講座を開設します。				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	80%	80%	80%	80%	80%
実績1	100%	100%	100%	100%	100%
決算額	-	-	-	-	-
評価	B	A	A	A	A

平成30年度実績

1. 受講者の満足度-100%（アンケート回答1団体）

月 日	事業名とその内容	受講者数	担当職員等
4月26日	上春別小学校6年生 「大昔のべっかい・勾玉づくり」	16	石渡主幹
6月19日	野付小学校6年生 「野付半島の歴史 幻の町キラク伝説編」	20	石渡主幹
6月27日	松浦武四郎生誕200年記念事業委員会 「松浦武四郎と加賀伝蔵」	25	石渡主幹
7月15日	ナカシベツ大学「松浦武四郎とメナシの人々の足跡を巡る」 「松浦武四郎と加賀伝蔵」	39	石渡主幹
9月3日 ～4日	平成30年度日本地質学会巡検案内（根室市・走古丹・野付半島）	17	石渡主幹
9月10日	野付小学校アウトドアクラブ 「火おこし体験」	10	石渡主幹
11月5日	西春別ディサービスすずらん 「小澤彦三が見た昭和初期のべっかい」	15	石渡主幹
11月28日	野付小学校職員 「野付半島の歴史など」	12	石渡主幹
1月27日	別海町商工会女性部 「別海町の歴史について」	20	石渡主幹
2月4日	森永乳業株式会社 「根釧パイロットファーム」	30	青野芳樹氏

受講者の感想（アンケートから）

野付小学校6年生社会科授業「野付半島の歴史 幻の町キラク伝説編」より

子ども達に関心のある事柄を紹介していただきました。話を聞いて新たな知識を得ることができました。今回初めて講座を受けました。写真をふんだんに使い子ども達に視覚で訴えていたので、イメージが付きやすく関心をもって聞くことができました。また、急なお願いにも関わらず快く引き受けていただいたことに感謝しています。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

1-2-3-15					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	出前移動展				
事業内容・目的	これまでに実施した特別展のパネル資料などを学校・各種団体の希望に応じて貸出し、移動展を実施することにより、町の歴史や自然を身近に感じてもらいます。				
評価指標	1. 見学者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	80%	80%	80%	80%	80%
実績1	-	-	-	87%	80%
決算額	-	-	-	-	-
評価	C	A	A	A	A

平成30年度実績

1. 見学者の満足度-80%（アンケート回答18人）

町内及び釧路管内で移動展を実施した。松浦武四郎生誕200年、北海道命名150年の節目の年であったことから、関心が高く、大変好評でした。

期 間	事業名と内容	備 考
6月6日 ～29日	野付半島ネイチャーセンター 企画展「小澤彦三が見た昭和初期のべつかい」	解説パネル21枚
6月19日 ～29日	野付小学校 加賀家文書館第11回特別展 「知られざる幕末会津藩北辺防衛の歴史」	解説パネル19枚
9月15日 ～10月8日	釧路芸術館主催出前移動展 「わが町のお宝展（別海町）」	総展示資料数40点 （パネル・実物・模型等）
10月20日 ～31日	標津町総合文化会館2018アイヌ文化祭り 特別展「松浦武四郎が見た根室管内と北方領土」	解説パネル24枚
11月25日	中標津町総合文化会館 特別展「松浦武四郎が見た根室管内と北方領土」	解説パネル24枚
11月26日 ～12月10日	東公民館 特別展「松浦武四郎が見た根室管内と北方領土」	解説パネル24枚
12月17日 ～28日	中央公民館 特別展「松浦武四郎が見た根室管内と北方領土」	解説パネル24枚
1月7日 ～30日	西公民館 特別展「松浦武四郎が見た根室管内と北方領土」	解説パネル24枚
1月13日	釧路市遊学館 ジオ・フェスティバルin・Kushiro2018 「マンモスゾウがいた頃・津波堆積物」	総展示資料数6点 （パネル・実物・模型等）

見学者の感想（アンケートから）

「小澤彦三が見た昭和初期のべつかい」（野付半島ネイチャーセンター）

- ・ドイツ製のカメラのおかげなのか、とてもきれいに撮影されており、当時の貴重な生活の様子がよくわかりました。
- ・後世に残すべき自然と資料、ありがたく拝見しました。関係諸氏に感謝です。
- ・先人の努力・苦勞・困難等どれひとつとっても立派であり、ねばり強さには敬服する。
- ・現代にはない、素晴らしい生活があったことが伝わってきました。開拓の人々の技術と知恵と根性はすごいと思いました。

1-2-3-16					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	資料の有効的活用のための貸出				
事業内容・目的	郷土資料の有効的活用を図るため、可能な限り貸出を行い、郷土学習に役立てます。				
評価指標	1. 利用者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	80%	80%	80%	80%	80%
実績1	-	100%	-	100%	100%
決算額	-	-	-	-	-
評価	B	A	A	A	A

平成30年度実績

1. 利用者の満足度-100%（アンケート回答1件）

関係機関や各団体の要望に応じての貸出であるため、件数については流動的であります。さらなる有効的活用のための貸出を行うためには、資料基本台帳の整備及び公開が急務であります。

期 間	内 容	貸出資料
4月28日	東公民館 「第34回尾岱沼地区子どもまつり」に使用	せんべい焼き器-5点
6月6日 ～2月28日	北海道博物館・三重県総合博物館・北海道立帯広美術館 巡回特別展「幕末維新を生きた旅の巨人松浦武四郎」	加賀家文書等資料（松浦武四郎関係資料）-3点
6月29日	（株）酪農乳業速報北海道支社 「ホクレン指定団体情報」への掲載写真	文書（写真）資料-1点
6月13日 ～20日	別海町老人保健施設すこやか 「集団リハビリ実施のため」	文書（DVD）資料-5点
6月27日 ～7月9日	標津町ポー川史跡自然公園 「会津松平家14代目招聘事業」出展のため	加賀家文書等資料（会津藩関係資料）-7点
10月30日	北海道教育大学釧路校境教授 「防災授業」使用のため	自然（津波堆積物剥取）資料-1点
11月7日	北海道教育大学釧路 別海中央小学校授業に伴う資料借用のため	産業（農具）資料-7点
11月10日 ～11月17日	釧路市立博物館 「釧路・根室の簡易軌道」記録冊子補改訂版刊行のため	文書（簡易軌道）資料-3点
11月22日	東公民館主催事業 「異世代交流会事業」に使用	炭火アイロンほか-4点
11月15日 ～31日	厚岸町海事記念館 特別展「北海道命名150年記念・江戸から明治へ～厚岸の激動の時代へタイムスリップ」	加賀家文書等資料（松浦武四郎関係資料）-5点

1-2-3-17					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	郷土学習推進に関わる刊行物の作成				
事業内容・目的	郷土学習推進のために町の歴史や自然、郷土資料に関わる調査・研究の成果を広く紹介するために刊行物を計画的に作成し、ふるさと別海への愛郷心の高揚を図ります。				
評価指標	1. 作成件数				
備考					
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	1	1	1	1	1
実績1	2	1	1	-	-
決算額	640千円	52千円	330千円	-	-
評価	A	A	A	C	C

平成30年度実績

刊行物の作成は、ありませんでした。資料整理・調査研究を積極的に行う必要があります。

2-2-2-17					
分類	2-2-2 生涯各期-青少年期		担当課	郷土資料館	
推進目標	魅力ある様々な体験的学習活動を展開するとともに、他地域・異学年交流を充実します。				
事業名	郷土資料館サマー・ウインタースクール				
事業内容・目的	郷土の歴史や自然を理解する心を持たせるとともに、21世紀の別海町の未来を探究させる心を育てます。（夏休み・冬休み中）				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	○	○	○	○	○
目標値2	80%	80%	80%	80%	80%
実績2	99%	90%	87%	95%	91%
決算額	20千円	20千円	20千円	26千円	34千円
評価	A	A	A	A	A

平成30年度実績

1. 受講者の満足度-95%（アンケート回答20人） もの作りを通して別海の歴史を知ることが出来るなど大変好評でした。
--

サマースクール

期 日	場 所	内 容	受講者数
8月2日	郷土資料館	「大昔のべっかい」 （1）縄文人に挑戦しよう・土器づくり編 講師 北海道教育大学釧路校 川村 幸星氏他2名	13人 （内保護者1人）
8月15日	郷土資料館	「大昔のべっかい」 （2）縄文人に挑戦しよう・勾玉づくり編 講 師 別海町郷土資料館 主幹 石渡 一人	10人

ウインタースクール

期 日	場 所	内 容	受講者数
1月11日	郷土資料館	「昔の遊び・凧づくり」 講師 郷土資料館職員	11人（内保護者1人）

参加者の感想（アンケートから）

○サマースクール

（1）土器づくり

・ぶひんをつくるのがすこしめんどうだったけど、つなげるのがけっこうたのしかったです。

・さい初はひびわれがあり、どうなるかと思ったけれど、さい後には、ひびわれもなく、自分だけの土器が作れて良かったです。

（2）勾玉づくり

・友達へのプレゼントを作れてタイミングがよかった。

・さい初はきずがたくさんあったけれどあらったりして、ぴっかぴかになったので、うれしいあまりで良かったです。

○ウインタースクール

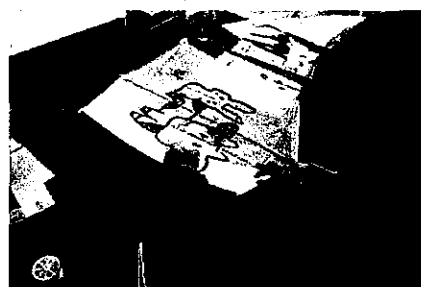
・また、作ってみたいし、絵もじょうずにできたので、うれしかった。空たかくあげてみたいです。

・家にもパラシュートのぬの凧がありますが、手作りは、はじめてなのでとても満足しました。



←サマースクール

ウインタースクール→



2-4-3-03					
分類	2-4-3 生涯各期-高齢期		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	所蔵資料を活用した地域回想法事業				
事業内容・目的	認知症を有する高齢者やその予備軍に対して、所蔵資料を活用した地域回想法への取組を目指す。				
評価指標	1. 進捗状況				
備考					
年度	H26	H27	H28	H29	H30
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	-	-	-	-	-
評価	C	B	B	B	B
平成30年度実績					
1. 福祉施設での資料映像の貸し出しや出前講座による試験段階の実施に留まった。本格的実施に向けた体制作りや関係部局との連携が今後の課題となります。					
6月13日 ～20日	別海町老人保健施設すこやか 「集団リハビリ実施のため」				資料貸出
11月5日	西春別ディサービスすずらん 「小澤彦三が見た昭和初期のべつかい」			15	石渡主幹

3-4-1-01					
分類	3-4-1 施設・機関-郷土資料館 担当課 郷土資料館				
推進目標	郷土資料館の整備・充実を図り、文化遺産（郷土資料）の継承に努めます。				
事業名	郷土資料館の建設準備				
事業内容・目的	老朽化した郷土資料館の建設準備を進めます。				
備考					
実施計画	H21				
	H22				
	H23				
	H24				
	H25				
	H26 調査（類似施設実態調査）				
	H27 調査・基本構想（活動・展示・施設・運営）作成				
	H28 基本構想（活動・展示・施設・運営）作成				
	H29 基本計画（活動・展示・施設・運営）作成				
	H30 基本計画（活動・展示・施設・運営）作成				
年度	H26	H27	H28	H29	H30
決算額					
評価	○	○	○	○	○

平成30年度実績

現時点では、資料整理や調査研究中心の作業を進めている。第7次別海町総合開発計画に計画出来るよう準備を進めた。

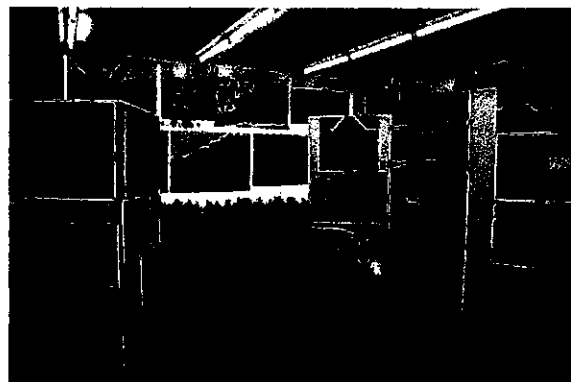


郷土資料館 外観(左) 展示室(考古コーナー)(右)

3-4-1-02					
分類	3-4-1 施設・機関-郷土資料館	担当課	郷土資料館		
推進目標	郷土資料館の整備・充実を図り、文化遺産（郷土資料）の継承に努めます。				
事業名	収蔵展示室の確保				
事業内容・目的	収蔵資料の適切な保存や今後の郷土資料収集計画などを念頭に置きながら、廃校校舎等を活用した収蔵展示施設を確保し、文化遺産（郷土資料）の保存を図ります。				
備考					
実施計画	H21	場所の選定			
	H22	資料の移設（旧豊原小学校）			
	H23	資料の移設			
	H24	資料の移設・展示作業			
	H25	資料の移設・展示作業			
	H26	展示作業			
	H27	展示作業			
	H28	豊原分館として開館（展示内容の充実・資料整理は、継続する。）			
	H29	〃			
	H30	〃			
年度	H26	H27	H28	H29	H30
決算額	249千円	16千円	-	847千円	-
評価	○	○	○	○	○

平成30年度実績

施設整備は、郷土資料館と合わせて検討協議する方針を定めた。
資料整理や展示の充実については、今後も継続予定である。



豊原分館根釧パイロットファーム資料室パネル展示状況



郷土資料館所蔵資料収蔵展示状況 農業資料(左)・生活資料(右)

その他の事業

事業名	内容・実施時期など
町機関対応関係	●別海町教育委員会生涯学習課文化財担当所管 ①埋蔵文化財包蔵地確認調査（カッコはヶ所） 4月17日(1)、5月22日(1)
	●別海中央中学校職場体験受入 女子1名（7月4日～6日）
研究機関等対応関係	●帯広百年記念館小林真樹学芸調査員 「旧奥行臼駅通所発掘調査動物遺体資料環境調査」 (5月29日～30日)
	●文化庁国立アイヌ民族博物館準備室薮中剛司課長他4名 加賀家文書館所蔵資料調査（7月11日）
	●北海道教育大学釧路校小林光星氏 「縄文土器の野焼き調査実験」（7月18日）
	●JTBアイヌ文化ツアー企画部門2名 加賀家文書館所蔵資料調査（9月27日）
	●北海道教育大学釧路校小林光星氏 「縄文土器の野焼き調査実験」（10月13日）
	●小樽市博物館菅原慶朗学芸員 加賀家文書館所蔵資料調査（10月27日）
	●JTBアイヌ文化ツアー企画部門10名 加賀家文書館所蔵資料調査（11月8日）
	●横浜開港資料館吉崎雅規調査研究員 加賀家文書館所蔵資料調査（11月20日）
報道機関対応関係	●北海道博物館東俊祐学芸員他1名 加賀家文書館所蔵資料調査（3月24日）
	●冊子刊行、資料展示、講座同行等に伴う取材13回 北海道新聞(5)、釧路新聞(5)、総合企画(1) NHK釧路放送局(2)